

嬉野医療センターを受診された患者さまへ

研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	小児アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法についての検討
研究責任者（所属名）	研究代表者：臨床研究部長（小児科） 在津正文
本研究の目的	アレルギー性鼻炎は、近年小児でも増加傾向であり、低年齢化傾向がある。その原因抗原の代表的なものはダニ（ヒョウヒダニ・ハウスダスト）、と杉花粉です。自然寛解は少なく、これまでは対象療法が主体であったが根治・長期寛解が期待できる治療法として舌下免疫療法が導入され、保険適応にもなっています。小児のアレルギー性鼻炎（ダニ・スギ花粉）に対する舌下免疫療法が最近保険適応となり（2018.6.29～ シダキュア® 2018.2.16～ ミティキュア®、アシテア®）、アレルギー性鼻炎への早期介入による長期的な臨床症状の改善、アレルギー疾患の自然経過の修飾による新規アレルゲンに対する感作の抑制や気管支喘息発症予防やステロイド減量効果、などの利点が報告されています。今回、当嬉野医療センターで、小児のダニ・スギを抗原とするアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法の実際を診療録の後方視的検討により確認し、その効果、副作用の確認および今後の問題点などを検討する目的で本研究を行います。
調査データの該当期間	2018年10月1日から2020年11月30日の間に新規にアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法を開始した小児の患者様
研究の方法 (使用する試料等)	診療録より必要な項目を抽出し、舌下免疫療法の開始前後で比較検討します。 研究に利用する試料、情報等 試料：なし 情報：電子カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、合併症、家族歴 発症年齢 アレルギー抗原の種類・数、気管支喘息・アレルギー性鼻炎・アトピー性皮膚炎の重症度（各診療ガイドラインより）、副作用の有無、他アレルギー疾患合併と副作用の関連、治療継続状況、治療前と開始後1年での効果（眼掻痒、涙目、鼻汁、鼻閉、くしゃみ）など
個人情報の取り扱い	利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除

	した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表・医学雑誌への論文投稿を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0954-43-1120 (代表) 担当者：管理課長
備考	